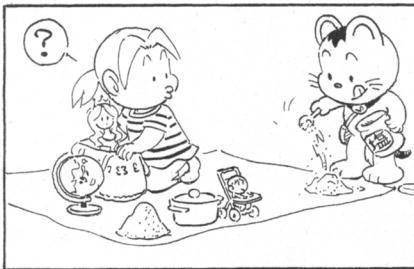
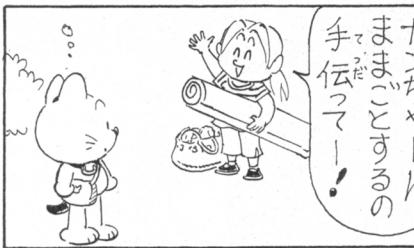
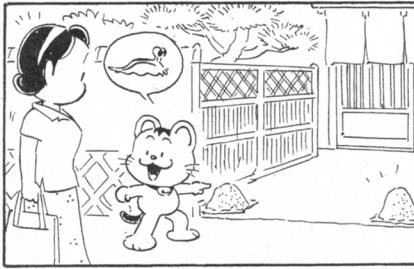


非常用発電機に感心

支援する会 赤十字病院を見学



立ち入り禁止区域にある発電機を見学する参加者



北見・鴨下さんとエジプト人AETフセインさん



北見市教委の英語指導助手(AET)でエジプト出身のフセイン

・ザナティーさん(42)
北見市留辻藝町在住

「夢は世界」

音楽ユニット始

オリジナル曲も

アラビア語の楽曲を披露する
フセイン・ザナティーさん
(右)と鴨下摩耶さん(10日)

曲を学んだ北見市在住の鴨下摩耶さん(28)が音楽ユニットを結成し、活動を開始した。ユニット名はまだ決まっていないが「夢は世界進出」。2人の思いは熱い。

フセインさんは歌や打楽器演奏を得意とし、昨年1月には自ら作詞作曲したCDを作成した。鴨下さんはピアニストとして活動した後、米国ボストンのバークリー音楽大学を6月に市内で開かれた地産地消イベント「オホーツクお土産展」でデビューした。その後も市内のイベントなどに出演している

卒業。昨年、故郷の北見に戻ってきた。今年4月、鴨下さんが東相内中で英語を教えることになり、フセインさんと知り合った。音楽の話で盛り上がり、すぐに意気投合。2人で活動することを決めた。

フセインさんがボーカルとパーカッショニン、鴨下さんがピアノとサブボーカルを担当。

吉田院長は「建物の老朽化が進み、修復しても切りがない」と移転新築の必要性を強調した。(中橋広岳)
見学会には同会員
バーコロム人が参加。停電時、院内に電気を供給する医療用発電機や、地下水をくみ上げた同病院独自の浄水設備などを見学した。参加者は「災害に対応するため、こんな施設があるなんて知らなかつた」と感心した様子だ。参加者は見学の後、

視覚障害者が対象
サイクリング教室

北見サイクリング協会(船橋利実会長)は29日午前10時~午後1時、北見市朝日町の香りやんせ公園で、日ごろアウトドアスポーツ